

行政自治委員へ予算の説明など



行政自治委員事務連絡会議が五月二十七日、総合福祉会館で開催。市と市民の皆さんとのパイプ役である二百五十二人へ、予算説明などを行いました。また、会議に先立ち、委員を二十年以上務め退任した二人と、十二年務める一人を功労者表彰。長年の労をねぎらいました。

ま え ば し
 フラッシュ
 シティ



市有施設を巡り再発見

5月27日、荻窪清掃工場や粕川歴史民俗資料館など、市有施設を巡る見学会が行われました。消防本部では消火訓練や煙内避難を体験し、119番通報から出動までの様子を通信指令室で見学。市民を災害から守るため、充実した最新機器を使い全力を尽くす姿に、参加者は大きな信頼を寄せていました。

まが玉作りで古代生活体験



粕川歴史民俗資料館で五月二十八日、古代生活体験が行われました。小中学生など七十一人が参加。館内で説明を受けた後、近くの膳城跡でまが玉を作りました。滑石をやすりで磨き、水で洗った後、蛍光ペンで色付け。古代の暮らしに思いをはせていました。



「ゴミや廃棄物などの課題は多岐にわたり数多くあります。そのため、地方自治体、国、事業者、市民がそれぞれの役割を果たさなければ廃棄物の減量化はできません。」

本市では、昨年からプラスチック容器の分別など、いろいろと工夫しています。その結果、市民の皆さんと事業者の協力によって、可燃ゴミを一・八%減少。今後も減量化を進めます。

ゴミ問題は本市の明日を決定するほどの大きな問題です。三十二万新生前橋市にふさわしい、ゴミ処理基本計画になるように、十分な審議をお願いします。

(五月二十三日、第一回廃棄物減量等推進審議会にて)

ゴミ減量

継続推進